



第151号



議会だより

# わどまり



「まだちょっと冷たいね」



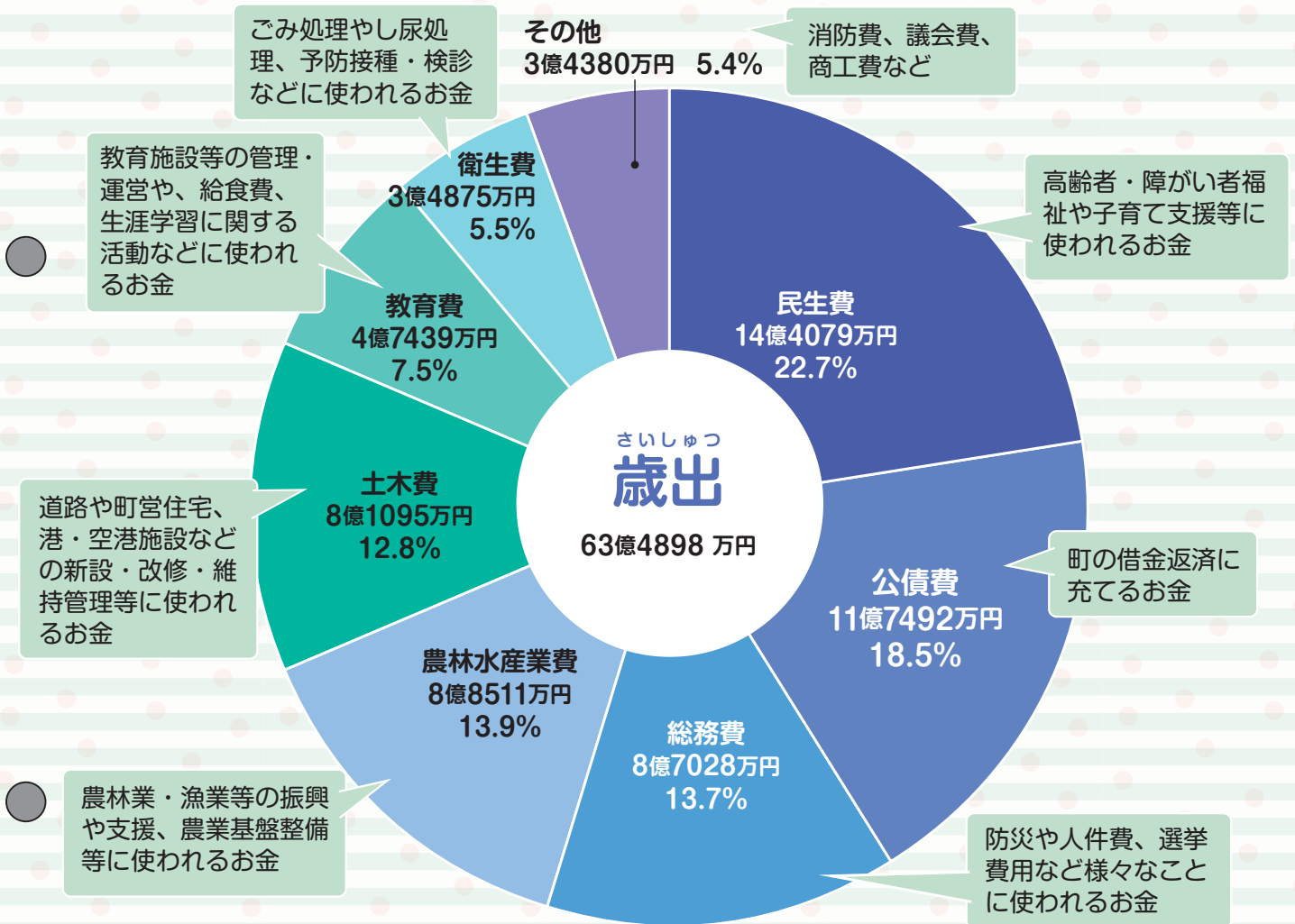
左の三次元コードをスマートフォン  
などで読み取ると、町議会のホーム  
ページにリンクします。

# 計画が本格スタート!!

令和 **3** 年  
第1回 定例会  
3月9日▶19日

## 一般会計 (歳出・歳入)

63億4898万円【前年度対比 1億5373万円 **増**】



### 令和3年度特別会計・企業会計予算額 (水道事業会計の資本的事業は除く)

項目	今年度	前年度比
国民健康保険特別会計	10億9128万円	1億280万円 <b>増</b>
介護保険特別会計	9億5871万円	7916万円 <b>減</b>
後期高齢者医療特別会計	9164万円	756万円 <b>増</b>
下水道事業特別会計	2億5704万円	7879万円 <b>減</b>
農業集落排水事業特別会計	2億3036万円	1126万円 <b>増</b>
奨学資金特別会計	1029万円	69万円 <b>減</b>
水道事業会計 (収益的事業)	1億8100万円	350万円 <b>減</b>

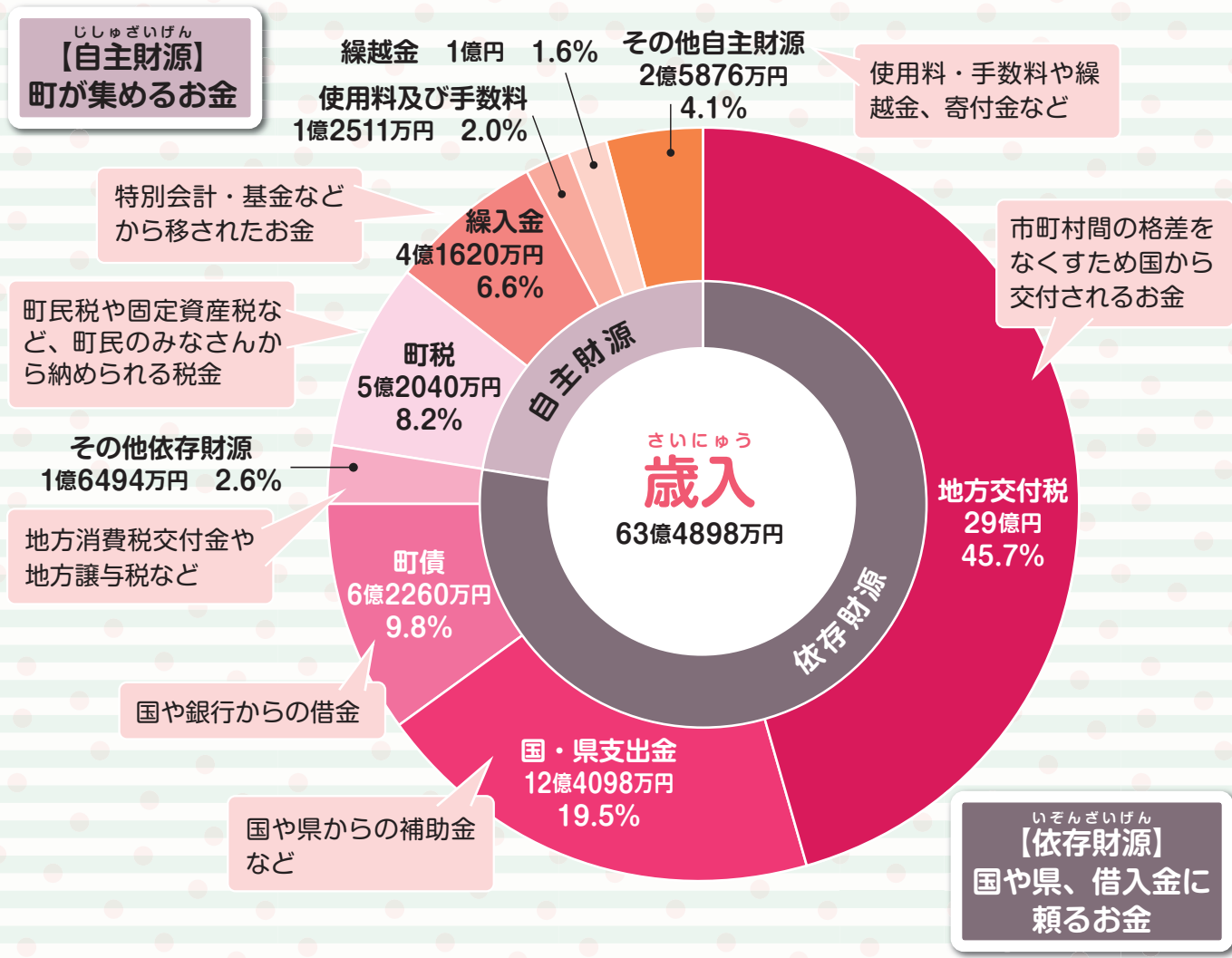


※グラフの数字は端数処理のため、必ずしも合計金額と一致しない。

# 令和3年度 当初予算

# 第6次総合振興

## 財政健全化を図りつつ 町民生活に直結する施策を着実に推進



一般会計予算の推移

R 3年度	63億4898万円
R 2年度	61億9525万円
H31年度 (R1年度)	64億4055万円
H30年度	68億9730万円
H29年度	55億7798万円

■令和3年第1回定例会 (3月9日～19日)

議案等番号	件名	議員名 (議席番号順)											議事結果	
		山口明日香	島田浩樹	森富隆	川畑宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一		永野利則
議 1	和泊町議会議員及び和泊町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 2	和泊町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 3	和泊町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 4	和泊町介護保険条例の一部を改正する条例の制定	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	原案可決	
議 5	和泊町特殊自動車の使用に関する条例を廃止する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 6	えらぶ堆肥センターの指定管理者の指定 【(公財) 沖永良部農業開発組合】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
議 7	令和2年度和泊町一般会計補正予算 (第8号) の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 8	令和2年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算 (第4号) の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 9	令和2年度和泊町介護保険特別会計補正予算 (第3号) の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 10	令和2年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号) の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 11	令和2年度和泊町下水道事業特別会計補正予算 (第2号) の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 12	令和2年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第4号) の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 13	令和3年度和泊町一般会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 14	令和3年度和泊町国民健康保険特別会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 15	令和3年度和泊町介護保険特別会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 16	令和3年度和泊町後期高齢者医療特別会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 17	令和3年度和泊町下水道事業特別会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 18	令和3年度和泊町農業集落排水事業特別会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 19	令和3年度和泊町奨学資金特別会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 20	令和3年度和泊町水道事業会計予算の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
発 1	和泊町議会基本条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	議員派遣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決

※永野利則議員は議長職のため、表決 (賛成・反対の意思表示) に参加しません。

附帯意見 (予算審査特別委員会より)

当初予算において計上漏れがあったが、各課連携を密にし、計上漏れのないよう努めること。

次のページへ  
GO!!



# リリリーちゃんと学ぼう♪

## 教えて!! 「和泊町議会基本条例」のこと

令和3年第1回定例会において、発議（議員が提出する議案）第1号「和泊町議会基本条例の制定について」が可決されました。皆さんにはなかなか馴染みのない言葉だと思しますので、リリリーちゃんと学んでみましょう!!



### Q1. 和泊町議会基本条例とは？

議会活動の根本となる考えや、原則、制度などの基本的なあり方を決めた条例のこと。  
議会運営における最高規範。

### Q2. どうして制定するの？

議会がみなさんを代表する機関として、議会と議員の活動の活性化・充実を図り、町政の情報公開と町民参加を基本に、みなさんに信頼され、存在感ある議会を築いていくための責務を果たすとともに、議会のあり方を実現するため。

### Q3. どう変わるの？

条例化することによって、明確なルールとしてみなさんと約束ができ、そのルールに沿い、より一層の議会活性化が見込まれる。



☆この条例は令和3年4月1日から施行されています。

詳しい内容については ▶▶▶



### 一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。



## ココが聞きたい 一般質問

# 町政を問う!!

令和3年(3月)第1回議会定例会

## 生徒が主人公の運動部活動!!



しまだ ひろき  
島田 浩樹 議員

### 教育行政について

**問** 少子化等による、本町中学校における運動部活動の今後の運営方針は。

**答** 中学校の部活動は、学校教育の二環として、生徒の自主的、自発的な参加により行われる教育課程外活動である。

しかしながら、少子化が進展する中、従来と同様の運営体制では、生徒の適性等に応じた多様な部活動を設置・維持することが難しくなってきていることも事実である。

このような状況を踏まえ、

### ※「外部人材」解説

平成29年度4月に学校教育規則の一部が改訂され、中学校・高校の部活動において、学校長の監督下で顧問の代わりに単独で指導・引率ができる。



本町中学校の部活動の運営については、大島地区の部活動の在り方に関する方針に則り、単独チームだけでなく、島内の知名町立中学校も含めた複数校による合同チームや合同練習などの取組や外部人材の活用をより一層進めていく必要がある。

今後、持続可能な部活動の運営方針を、各中学校や関係団体、関係機関等と協議していく。



合同部活動・  
拠点部活動の  
推進を!!



コロナウイルスに負けるな、オー!!



池田 正一 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

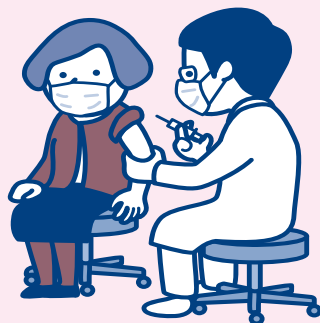
**問** 町内における新型コロナウイルスウィルスワクチン接種の体制づくり等はどのようなものか。

**答** ワクチン接種については、国の指示のもと、県の協力により、町が実施するものとなっております。本町においても、スムーズな接種ができるように関係機関と連携して体制を整えている。また、接種準備・実施等を行うっていくために、保健センターを中心に「新型コロナウイルスワクチン接種対策班」を設置

し、ワクチン接種に関する相談窓口として専用電話回線を増設し、町民からの問い合わせに対応することに併せて、集団接種時の予約センターとしても機能させる。

人員は、保健センターの職員を中心に保健福祉課全体でも対応できるようにしていく。また、必要に応じて、全庁的に取組んでいく。

ワクチン接種は、知名町とともに沖永良部医師会や沖永良部徳洲会病院とワクチン接種についての話し合いを行い、優先接種の上位にある高齢者について、個別接種



を中心に、集団接種も併用して実施していかないか検討している。

過去の一般質問について

**問** 令和2年第3回定例会において、合同金婚式の復活開催について質問したが、どのような検討がなされ、結果は怎么样了か。

**答** 第3回定例会後に各字区長と長寿クラブへ復活開催についてのアンケートを実施した。結果は、区長会、長寿クラブとも賛否両論あった。その後、庁内でも検討を重ねた結果、金婚式は結婚50周年を迎えた夫婦という限定的な対象になること、また「福祉」は広く町民の方にサービスを提供することから、一部の方々のためにサービスという点から鑑みて、実施しないという結論に至った。

金婚式に参加したくとも

配偶者に先立たれた方や独り身の方も多くいる。

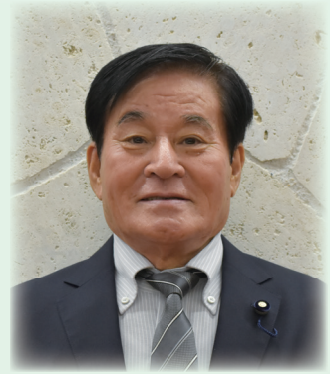
金婚式の開催を決定した時点で悲しむ方がいるとわかって開催することは、行政の行うべきことから外れていのではないかと判断した。

町主催としての金婚式開催は難しいが、来年度以降、各字の敬老会の中で金婚式のご夫婦をお祝いしていただけるよう、お願いしていく。

金婚という節目の行事は、大変喜ばしいことであるので、これからも変わらずご家族や親戚の方々が盛大にお祝いしていただければと考えている。



高齢者の生きがいづくり



もりとみか 森 富隆 議員

高齢者のいきがいづくりの推進について

**問** 和泊町高齢者元気度アップポイント事業の活動状況は。また、ポイント付与対象に新たな活動を追加する考えは。

**答** 現在ポイント付与の対象は、高齢者パワートレーニング教室や長寿会定例会など14の活動がある。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動の自粛もあったが、感染予防に努めながら、現在は各活動を例年通り再開している。

この事業は、県の補助で実



▲たくさん参加してポイントをもらいましょう！

高齢者元気度アップ・ポイント事業ってなに??

高齢者の健康づくりや社会参加を促進して、健康維持や介護予防に取り組む事業だよ。対象の活動に参加するとポイントがもらえるよ。



施しているの、県と協議を行いながら活動団体の登録を行っている。新たな活動実施の相談があった場合は、県との協議を行っていく。

どうくさ手帳ってなに?

高齢者元気度アップ・ポイント事業でもらえるポイントをためていく手帳だよ。65歳以上の方は登録申請ができるよ。 ※条件あり



**問** どうくさ手帳について町民に対しどのような周知しているか。また、交付数と商品券換金率はどのようなになっているか。  
**答** 手帳の周知に関してはサンサンテレビや防災無線で広報を行っており、必要な時は長寿会での広報や、登録団体から利用者へ参加申請を推進して頂いている。交付に関しては、毎年約500冊交付しており、そのうち約7割の方が商品券に換金されている。



▲ポイントを貯めたら商品券に換金できます



▲いきがいづくりの輪を広めよう





子どもを産み育てやすい環境を



山口明日香 議員

子育て支援について

在宅育児支援金の給付はできないか。

答

令和3年度から「家庭保育応援給付金」として、新たな待機児童対策となるよう実施に向けて協議してきたが、令和3年度のわどまり保育園の入園児数がこの数年で最も少数となり、待機児童の解消ができる見込みとなった。

そのため令和3年度は、給付額、対象年齢及び家庭保育の理由等を調査・研究し、令和4年度の入園児数を考慮しながら、実施の有無を含めて

検討していく。

家庭保育においては、在宅保育の保護者を支援するため、地域子育て支援センターやファミリー・サポート・センター事業を充実させ、いつでも育児相談ができ、安心して子育てができる環境づくりによりいっそう努めていく。

地域子育て支援センター  
ほっとステーションカレンダー  
2021年 4月

日	月	火	水	木	金	土
				1 神奈交付式	2	3
4	5 さいたさいた どの花びらも きれいなな	6 チュウリップの花が ならんだ	7 ならんだ チュウリップ	8 ★身体測定 ★お楽しみ会 (午前)	9 ★3種3種スタート ★親子ふれあい 遊び ★乳児健診	10
11	12 ★親子ふれあい 遊び	13 ★親子ふれあい 遊び	14 ★身体測定 ★お楽しみ会 (午後)	15 ★午後開放日 (14時~16時)	16 ★ボール遊び	17
18	19 ★親子ふれあい 遊び	20 ★午後開放日 (14時~16時)	21 ★こいのぼり制 作をしよう	22 ★離乳食教室 (前期)	23 ★絵本・紙芝居 をしよう ★3歳児健診	24
25	26 ★こいのぼり制 作をしよう	27	28 ★親子ふれあい 遊び	29 ★親子ふれあい 遊び	30 ★4月生まれの お誕生会	

▲季節ごとに親子で色々な体験を

問

一時保育やファミリーサポートなどの充実が必

要だと思うが、どのように考えているか。

答

一時保育事業は、保育園等に受入余裕がある場合に限っているため、待機児童がいる場合には、受入れできないこともある。

ファミリー・サポート・センター事業は、当初、提供会員が増えず利用者のニーズに応えられないことがあったが、近年登録が進んでおり、令和3年度も「保育サポート講座」を計画し、更なる提供会員の確保に努めていく。

育児相談においても、地域子育て支援センターに保育士を常駐させ、令和3年4月から設置される「子育て世代包括支援センター」とも連携して、いつでも気軽に相談できる環境作りに取り組んでいく。今後も利用者のニーズを受け入れながら、過ぎしやすい子育て支援に努めていく。

学童保育について

問

土曜休校の日も学童保育の利用はできないか。

答

土曜日は、授業の終了後である放課後にあたらないため、土曜授業の日以外は実施していない。長期休暇中の利用については、国の基準において、実施することとなっており、本町では年間250日以上利用日を設けている。本町の放課後児童健全育成事業は、他地域では珍しいモデル的な事例で、各小学校の協力により、校舎を利用して実施しており、本町教育委員会及び各小学校校長の理解と協力があって実施できていると思う。シルバー人材センターに委託している点においても、他にない事例で、大変有効的な活動であり、感謝している。



町の発展は農業が元気



きい かずお 議員 喜井 和夫

農業振興について

問

農業は本町の基幹産業であり、町の発展には農業が元気でなければならぬと考えるが、高齢化等が進み、農業従事者が減少傾向にある現状をどのように考えているか。また、対策をどう講じていくのか。

答

本町では、農業従事者の高齢化等が進み、農家戸数・農業従事者いずれも減少傾向である。

地域農業の持続的な発展を図るためには、担い手の確保・育成が重要になると考えており、効率的かつ安定的

な農業経営と、それを目指して経営改善に取り組む認定農業者・認定新規就農者の確保・育成を推進している。

和泊町担い手育成総合支援協議会では、就農相談や就農に向けた支援策の情報等に関係機関・団体が共有し、的確な助言・支援を行うことにより新規就農者の確保を図っている。また、農業次世代人材投資事業の活用と、認定新規就農者制度の活用で、就農初期段階の農業者の経営・技術支援を両面から支援している。

更に、地域の人材不足などの課題解決に資する施策として、「特定地域づくり事業協同組合制度」がある。

人材不足が課題となっている農業や、介護分野への派遣が可能な事業であり、現在、特定地域づくり事業協同組

合の設立に向けた準備を進めている。

令和3年には、町内の数団体が労働者派遣事業を開始する予定となっている。



▲農業の更なる発展を目指して

健康小道設置について

問

昨年12月に健康小道「足裏刺激遊歩道」の設置について、270余名の署名入り要望書が町民から提出されたようだが、どのような検討をされているのか。

答

健康小道の設置については、要望書の提出を受け、関係部署において、設置個所や予算確保について

協議を行っている。

設置個所は、散歩やウォーキング等の健康増進の場として、また、ふれあい交流の場となるよう公園等を検討している。予算については、令和3年度地域振興推進事業を活用して設置したいと考えており、現在、県へ申請している。

今後は、町民への広報として、健康相談やサンサンテレビの「健康の窓」等を活用するとともに、引き続き、関係部署で検討を行いながら、町民の健康づくりを推進していく。



▲ひとりひとりの健康が町を元気に

もっと本気の財政改革を!!



かわばた こういち 川畑 宏一 議員

令和3年度当初予算について

**問** 令和3年度当初予算について

**答** 一般会計を昨年度より1億5372万7千円増の63億4898万1千円、特別会計や企業会計を含む全会計は、昨年度より1億2846万6千円増の92億6100万5千円を計上した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町税収入の大幅な減少が見込まれ、扶助費及び医療・社会保障関係の繰出金や公共施設の維持管理費等、依然として

厳しい財政状況にあるが、感染症対策やワクチン接種体制の確立、経済対策、町民に必要性の高い施策等を進めつつ、経費全般にわたる歳出削減を行った。

財政の硬直化が進むことがないよう、過去の予算執行状況等を精査し、経常経費の見直しを重点的に行ったほか、臨時財政対策債を除く起債発行額を4億3350万円とし、新規起債発行の抑制に努めた。

**問** 発達支援における取り組みは。

**答** 保健センターで実施する健診等で気になる乳幼児については、保護者と協議のうえ親子教室への参加を促し、経過を見ながら、巡回療育相談（鹿児島県子ども総合療育センター／年1

回、発育発達クリニック／年1回、大島児童相談所／年2回）や発達外来受診、療育施設の利用等を勧めている。

巡回相談では、知的な遅れ疑いや療育手帳の新規申請及び更新のための検査や不登校等の相談を中心に実施している。

島内には、発達の診断ができる専門小児科医が無く、不定期での発達外来にて受診しているのが現状で、関係機関と連携を取りながら早期支援に繋がられるよう努めていく。

**問** 沖永良部バス利用促進の取り組みは。

**答** 新型コロナウイルス交付金で導入したバリアフリー対応バスを活用し、障害のある方や高齢者、子供も利用しやすいよう利便性向上を図っていく。

また本年度、経済産業省の「スマートモビリティチャレンジ事業」の実証実験自治体に選定され、本町初の企業版ふるさと納税を活用し、買い物支援や商業施設への出荷支援など、路線バスの新たな可能性や利用促進に繋げる取り組みを検証している。

当初予算にはバス企業団助成金3666万4千円、敬老バス支援補助金500万円、障害者バス無料乗車券補助金210万円を計上した。



▲新型バスはバリアフリー対応!

結果に直結する投資予算を！



なかだ たかひろ 中田 隆洋 議員

産業振興について

問

国は「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、産地育成、輸出障壁の解消、海外での販路開拓を一体的に推進するとしているが、本町ではどのように取り組むのか。

答

沖縄国際物流ハブ活用促進商談会に参加し、シンガポールの花屋と商談を行ったが、価格面で折り合いがつかず破談に終わった。

今後もPR用に花材のサンプルを送付する。また、香港へ鹿児島香港事務所と連携して「南九州花き輸出

プロジェクト」へ参加し、販売促進PR活動を計画している。

問

規格外作物の加工販売について取り組むべきだと思いが、どのように考えているか。また、経産牛の再肥育についてはどのように考えているか。

答

規格外作物を活用した加工品の製造販売は、農家所得の向上や食品ロス等の問題に対する有効な手段であるが、町内における規格外品の現状や課題、加工した商品の販路、加工に取り組む事業主体等について調査し、生産者の要望に沿った取り組みが必要である。経産牛の再肥育については、畜産農家の飼養管理に負担となることが予想される。子牛生産性の向上を図る

ための取り組みを実施することが経営力向上に繋がるかと考え、経産牛による再肥育を推進する計画はない。



移住定住促進について

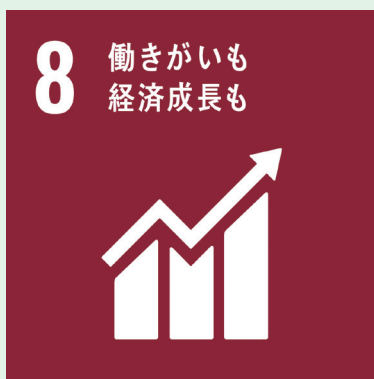
問

国は地方創生推進交付金における移住支援事業を拡充するとしており、本町でも積極的に取り組む必要があると思うが、どのように考えているか。

答

移住支援施策は、相談員の配置による受入体制の整備、移住支援サイト「くらすわどまり」を活用した情報発信、しま暮らし体験住宅や移住体験ツアー

を活用した、お試し暮らしの推進等の施策により、5年間で47世帯112名の方が移住している。今後は、「空き家活用促進事業」の活用や町有地を基本に用地整備の検討を進める。また、地方創生推進交付金としては、「まちゆんどプロジェクト」で島の子どもたちの郷土愛の醸成・キャリア教育の推進、島内外のネットワークの構築、しごと・住居環境づくりに努めていく。



現場の知恵を生かして反収向上を！



ひがし ひろあき 議員 東 弘明

農業振興について

**問** ビレットプランターを活用したサトウキビ植付作業の状況は。また、今後の課題として、定着と効果的な活用は。

**答** 現在、町内のビレットプランター導入状況は、6台ほどを把握している。植付けから収穫まで、機械化一貫体系が確立できることで、作業の省力化が大幅に図れる。

課題として、ビレットプランター植付けは、ハーベスターで収穫した苗を使用するので、芽欠きなどのロス

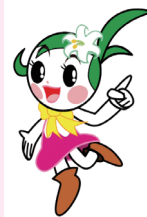
を考慮して多くの苗が必要となる。現在、技連会では、新品種の検証を兼ねた6ヶ月苗を用いた植付けに向けて準備をしている。若い苗は、成熟した苗より、2芽苗本数は若干少なくなるが、芽欠き等のロスが少なく、半年毎で年2回の調苗が可能となる。今後は、ビレットプランターを活用した植付けを定着させるためにも、最適な苗づくりの推進が必要と考え、手引き等の作成に向け取り組んでいく。



▲安定した農業所得を

ビレットプランターとは？

ハーベスターで収穫した細断茎（ビレット）を写真後部緑色のホッパに投入し、直接ほ場に植えつける機械のこと。



**問** 昨年的一般質問において、子牛セリ市のライブ配信について関係機関と検討するということであったが、どのような検討がなされ、結果はどうなったか。

**答** 子牛セリ市のライブ配信については、JAあまみ泊事業本部沖永良部畜産課において、両町畜産農家を対象に1月に調査を実施している。その結果、全体で約6割の畜産農家がライブ配信は「必要である」との回答があり、令和3年度JAあまみ総代会において、事業計画を計上していく方向で進めている。

**問** 畜産新規就農者のための助成金や研修等にはどのようなものがあるか。

**答** 畜産新規就農者に対しては、家畜導入事業及び繁殖雌牛導入貸付事業を活用し、セリ市場から導入した繁殖雌牛に対し、上限額50万円の貸付を行っている。

本町において農家研修は実施していないが、畜産農家の紹介は可能である。その他、各種研修会は関係機関で随時実施しており、畜産新規就農者も参加できる。

和泊町においては、令和2年度から未来の畜産農家を確保するために「畜産業未来創造プロジェクト事業」を実施しており、小学6年生から高校生を対象に、畜産体験を通して、進路や職業選択の幅を広げ、今後の畜産に関わる人材の創出を期待している。

人作りは町作り 教育行政の充実を!!



桂 弘一 議員

施政方針について※1

問 「まちゆんどプロジェクト」の現状と成果、新たな取り組み計画は。

答 今年度は、主に郷土塾の開設に向けた先進事例調査・勉強会・プレイベントの実施。また、島の若者で構成する「若沖洲会」と連携し、これから島外へ転出する高校3年生の不安を取り除くことを目的にオンライン相談・意見交換会を行った。

施政方針の詳細は↓

4月26日に発行された広報 わどまりに載っているよ。



問 ゆりのふるさと基金事業の現状、新たなアプローチ方法は。

答 ゆりのふるさと基金を造成する本町のふるさと納税は、現在5つのポータルサイトに登録し、2月末時点での寄附件数は約3万5千件、寄附額は約8131万2千円で、昨年度に比べ、約2倍に増加した。

※1 施政方針とは?

町の今後の方針と、一年間において行いたいことを表明すること。今年度予算の根拠となる。

問 令和3年度教育行政の基本方針を推進するための新たな取り組みは。

答 令和3年度の本町教育行政の重点施策として、「社会で自立できる生きる力をはぐくむ教育の推進」では、特に確かな学力の定着として学力向上を最重要課題とした一層の取組を推進していく。中でも、学力向上を目指した分かりやすい授業の工夫・改善として、令和2年度に整備完了予定の一人一台端末の活用を推進する。

また、「開かれた学校・信頼される学校づくりの推進」では、特に、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実に取り組む。

学校運営協議会は、令和2年度に町内全小・中学校に設置し、活動が始まったが、導入2年目として、各学校の実情に応じて、工夫・改善を図

りながら、より一層開かれた学校づくりを推進していく。

問 文化財の保護・活用とは具体的に何をやるのか。

答 令和3年度は、引き続き文化庁国庫補助事業により、県指定史跡「世之主の墓」ほか町内古墓調査を実施し、各古墓の現状を記録するとともに、国指定に向けた沖永良部島の古墓群の歴史的価値づけのための情報を収集する。

また、県指定文化財保護事業により、世之主の墓の石積み等を保護するための樹木の伐採や、見学者が安全に史跡を利用できるように整備を行う。

※2 教育行政の重点施策とは?

教育における様々な課題を解決するために必要な取り組み。



# pickup ペーパーレス化への第1歩！ 3月定例会からタブレット導入

和泊町議会では、環境への配慮や経費削減のため約3年前からタブレット端末の導入を検討し、先進地視察や研修会等を実施しており、令和2年度に役場企画課の事業で予算を計上（約588万円）し、議員と執行部（町長等）合わせて35台を導入しました。

サンサンテレビでお気づきになった方もおられるかもしれませんが、3月の定例会では一般質問や当初予算特別委員会等において、紙資料と併用しながら利用を開始しました。初めての試みで、戸惑う場面もありましたが、日頃から活用し、慣れていきたいと思えます。今後、議会では更なる利用促進のため、タブレットに係る研

修会をこまめに開催し、全議員・執行部が有効的に利活用できるよう努めていきます。



原稿を  
タブレットに入れて

軽いので  
話すときも  
スマートに

※コロナ対策としてアクリル板を設置しているため、人物が反射しておりますがご了承ください。



たくさんの資料が  
コンパクトにまとまる



小規模多機能ホーム

日程 令和3年3月16・18日（2班に分かれて視察）

場所 内城字公民館となり  
小規模多機能ホーム「ぐすく」

視察

## ぐすく 訪問



天井が高く明るい室内

小規模多機能ホームは介護が必要になった高齢者の方や認知症高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できるように1つの事業所で「訪問」「通い」「宿泊」を柔軟に組み合わせて全力サポートしている施設です。

施設内は日当たりもよく清潔感があり、何よりもスタッフの笑顔が素晴らしく、高齢者が安心して過ごせる雰囲気だと感じました。



みんなで集まり楽しく体操



玄関前に車が横付けできる



テーマ: 「今」

移住して丸5年が経ちました。島に移住したときは熊本で震災が起きたすぐ後だったことを覚えています。

島に来てからは義母が経営していた美容室を引き継ぎ、改装オープンするための準備に四苦八苦しながらも2016年6月1日にめでたくオープンすることができました。

オープン当初から激安カットを主軸にしていましたが、昨年の新型コロナウイルスの影響でお客様は減少してしまいました。そこで、今まで感じていた島内における髪のダメージに着目し、新しいメニューの研究を始めました。

島の水には石灰分が多く含まれており、特殊な薬品を使用しないと取り除くことはできませんが、それを可能にし、海水や紫外線によるダメージを改善する方法も見つけました。

今では、なるべく髪を痛ませないヘアカラーや、美髪になれるヘアトリートメント・縮毛矯正など、多くのメニューを取り入れることに成功しました。

その結果、今までとは違う客層にもアプローチすることができ、多くのお客様にご来店いただけるようになりました。

この1年を通し、コロナの影響で様々なところに弊害がでた一方、補助金を活用して新しいメニューの研究開発やSNSでの情報発信を多くできたことが今に繋がっていると感じました。サボったらサボっただけマイナスになりますが、自分の時間を使って自分に投資すればするだけしっかりプラスになります!

合言葉は「離島だからできる低価格を実現!」です。そのための企業努力を怠らずに新しい情報と新しい商材を取り入れてご提供できるよう情熱をもって髪と財布にやさしい美容室であり続けます。



玉城字にて「さくら美容室」を経営

プロフィール

あきもと ゆうたく  
秋元 雄拓さん(38歳)  
あゆみ いくお あおと  
妻: 鮎美さん 長男: 生雄くん 次男: 碧人くん  
青森県出身玉城字在住。東京で美容専門学校教師を3年間経験。その後、海外ボランティアやWEB広告会社など、さまざまな業種を経て今に至る。

永年勤続者表彰

令和3年2月に鹿児島市で開催された第72回鹿児島県町村議会議事会定期総会において、本町の山下幸秀議員が永年勤続(25年以上の部)の表彰を受け、3月の全員協議会の中で永野議長より表彰伝達がなされました。

山下議員は平成8年に初当選し、現在7期目です。



▲ 議員25年目を迎えた山下議員

編集後記

令和3年第一回定例会において、一般会計・特別会計の8議案を予算審査特別委員会で審議し、原案可決いたしました。

多種多様な時代に対応できるよう、議会の使命でもある、重要な政策の決定と行政運営の批判と監視の重大な役割を果たし、執行に責任をもって取り組んでいかなければならないと感じています。

また和泊町議会においては、今回の定例会より議会運営にタブレット端末を活用し、ペーパーレス化や業務の効率化を図っていく取り組みを開始しました。

タブレット導入により、住民自治の充実、またこの情報社会に対応できるように、議会としても活用していきたいです。

文責 島田 浩樹

- 発行責任者 ■
- 編集責任者 ■
- 永野利則
- 委員 山田
- 委員 中田
- 副委員長 田中
- 委員 島田
- 委員 玉田
- 委員 明香
- 委員 浩樹
- 委員 隆洋
- 委員 実隆

今号の表紙



表紙は4月14日におこなわれたワンジョビーチでの海開き・浜下り神事の様子。海に入るお子さんの表情はさまざま。いい記念になったのではないのでしょうか。